

同窓会報

50周年記念事業準備中



▲ホームページ

同窓会ウェブホームページ・携帯ホームページと共に誕生！

時計塔▶

大学と一緒に時計塔を新設！



イメージ



記念切手

50周年記念切手を販売予定！お楽しみに！

イメージ

ファイル

オリジナルファイル！来年の会報（記念誌）と同封してお届けします！



イメージ



日本酒・エコMy箸

同窓会オリジナルラベル付きの日本酒・オリジナルエコMy箸を、記念式典・レセプション出席者の方にどちらかを贈呈！



愛媛大学法文学部同窓会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内 tel.089-917-6376 fax.089-917-6476 E-mail:aidai-houbun-dosokai@sings.jp

ご挨拶

同窓会創立50周年
記念事業がスタートしました

愛媛大学法文学部同窓会副会長
鳥生 勉 歳（平成元年卒）



2007(平成19)年1月から副会長を務めさせていただいています。早いもので、就任して2年が近づこうとしています。何も分からないまま、理事会、三役会議、関西支部総会などへ出席し、また会報の編集に携わって、少しずつ同窓会の活動や役割を理解できるようになってきました。

今年3月に新たな卒業生を迎え、同窓会員は16,000人を超えました。昨年から寄附科目・提供講座（6～7ページをご覧ください）も始まり、従来の就職支援と合わせて、在校生との交流・支援も進んでいます。また、支部活動も関東・関西・広島・四国の各支部とも活発に開催されています（12～13ページに詳しく載っています）。是非とも、お近くの支部の活動にご参加ください。

さて、同窓会創立50周年がいよいよ来年に迫りました。これから1年かけてその準備に入ります。メインは、2009年10月31日(土)に松山全日空ホテルで行われる記念式典とレセプションです。50周年に相応しい講演と各種演奏などを予定しています。同窓会の歴史を振り返り、現在の大学と同窓会の状況をご理解いただくと共に、青春を過ごした仲間との旧交を温めていただきたいと思います。土曜日は全体の行事に参加して、日曜日に懐かしい仲間と松山を巡るという日程はいかがでしょうか。会費も格安に設定し記念品も用意していますので、同期の方を誘って是非ご出席ください。

その他、記念事業としては、
記念誌（カラー 20ページ程度）の発行
同窓会名簿の発行
ホームページの作成
記念碑（時計台）の作成

などを予定しています。右に詳細を掲載していますので、ご覧ください。

次の100周年に向けて、恥ずかしくない記念事業となるよう理事会一同、全力を挙げて取り組みますので、通常同窓会活動と合わせて、会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

目次

ご挨拶	2
50周年事業予告編	2・3
西田博先生インタビュー	4・5
提供講座	6・7

愛媛大学法文学部同窓会

**来年2009年10月
愛媛大学法文学部同窓会は
創立50周年を迎えます**

全国各地でご活躍の 同窓生の皆さん！

文理学部同窓会として1959(昭和34)年10月に創立されて以来、来年で50周年を迎えようとしています。検討中ではありますが、下記の内容をご案内致しますので、是非多くの同窓会員の皆さんにご参加いただいて、お祝いしたいと思います。

またこの機会に、久しぶりに同窓生の皆さんにも声をかけ誘い合わせて、同期会も併せて開催してはどうでしょうか。ご参加よろしくをお願いします。

- I. 50周年記念式典・レセプション
- II. 記念品の作成
- III. ホームページの作成
- IV. 記念碑（時計台）について
- V. その他の事業

※いずれも検討中のプランです。来年の会報（記念誌）で正式な内容をご案内します。



題字：柴田 祐昭（文理学部人文学科史学専攻・第8回卒）
【明楽寺住職・愛媛県美術会理事・県展審査員・毎日書道展審査会員】

創立50周年行事に皆さんご参加ください！

I 50周年記念式典・レセプション

愛媛大学法文学部同窓会50周年記念にふさわしい式典・レセプションとなるよう、品格ある催しを行います。出席を頂いた来賓の方々や同窓生と共に、50周年という節目を祝い、恩師や盟友との交流の場とします。

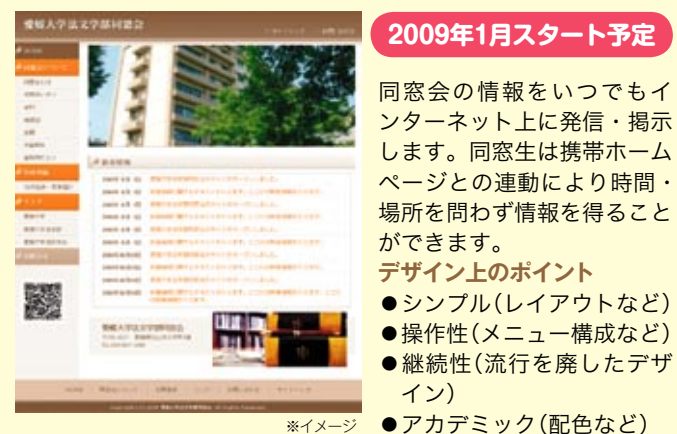
1. 場 所：全日空ホテル南館サファイアルーム
エメラルドルーム
日 付：平成21年10月31日(土)
時 間：式典16:00～18:00 レセプション18:00～20:00
予定参加者数 約200名
2. 記念式典
①愛媛大学吹奏楽部等の演奏（※会場や日時により変更もあり）
②主催者（同窓会会長）挨拶
③来賓ご挨拶
●学 長 ●校友会会長 ●法文学部長
④歴代会長・来賓紹介（テーブル紹介）
⑤記念講演
3. 記念レセプション
和洋中折衷料理＋屋台コーナー
現役大学生による各テーブルを回ってのマジックショー
伊予水軍太鼓・卒業生によるクラシックやジャズ演奏 など
4. 講演・懇親会の会費
(案) 男性3,000円
女性2,000円 ※これ以上は同窓会が負担いたします。

II 記念品の作成

●記念式典で出席者にお渡しする記念品（どれか選んで頂きます）



III ホームページの作成



2009年1月スタート予定
同窓会の情報をいつでもインターネット上に発信・掲示します。同窓生は携帯ホームページとの連動により時間・場所を問わず情報を得ることができます。

デザイン上のポイント
●シンプル(レイアウトなど)
●操作性(メニュー構成など)
●継続性(流行を廃したデザイン)
●アカデミック(配色など)

IV 記念碑(時計台)について

50周年の記念事業の中でも特に形に残る最大なものとして、法文学部、そして愛媛大学のシンボルとなるような時計塔を贈りたいと考えています。法文学部現役生をあたたく見守る、愛媛大学らしいデザインで、100周年まで残るようなものを作りたいと思います。

これについては、愛媛大学60周年行事との共同事業としても検討されています。

1. 設置する場所
正門前広場が希望ですが、場所に関しては、大学側と相談しながら決定したい。
2. デザインについて
学生からの募集を参考にさせてもらう。建立の意義も盛り込ませたデザインを採用し、専門家の指導のもと進めていきたい。
3. 名 称
学生からの募集で名付ける。
4. 時計台に入れる文字について
50年の歩みに思いをよせた詩や言葉などを、関係者等どなたかに依頼。または校訓等を入れる。
5. 除幕式の実施について
工事完成を50周年である平成21年10月に合わせ除幕式を開催。
その時に名称が採用された学生や、素晴らしいデザインを提供してくれた学生数人にも記念品の贈呈を行いたい。

大学側と共同で
建立する形で
話し合い中



※イメージ

※学生からの募集は、法文学部内にBOXを2箇所ほど設置する予定。

V その他の事業

同窓会記念切手販売



※イメージ

- 式典・レセプションで販売
- ウェブサイト申込可能(期限あり)

どうぞご期待ください!!

同窓会50年を語る

インタビュー

フリーアナウンサー
(Office Lapri)
後藤珠希
(2006年卒)

西田 博

愛媛大学法文学部名誉教授

●プロフィール●

愛媛大学文理学部人文学科乙卒業
 大阪市立大学院修士課程経済学研究科修了
 昭和41年1月 愛媛大学文理学部講師
 昭和43年4月 法文学部助教授
 昭和63年4月 法文学部教授
 平成10年3月 定年退職

後藤：今日は、長年同窓会の活動に多大の貢献をしてくださった西田先生にお話を伺います。
先生、よろしくお願いします。

西田先生(以下、西田)：よろしくお願いします。



後藤：ではまず、大学と同窓会の歩みについて話を聞かせてください。

西田：同窓会は卒業生の組織です。大学のことが分からずして同窓会のことには分からないですから、大学の動きから説明していきましょう。

戦前から1950年代までは、大学進学率は非常に低かったんですが、1970年代に入ると、短大を含めて15%以上の進学率になって、大衆化されてきました。90年代以後は進学率30%以上、現在は50%を超えています。同時に入学者が現役・浪人だけでなく社会人や外国人にまで多様化してきたので質的拡大が問題になり、それに伴う改革が必要になりました。

その1つが91年の大学設置基準の大綱化です。これはまず、教養課程と専門課程の区分の廃止。1年生のうちから専門課程の一部を履修する形です。さらに、学生による授業評価。教授の自己点検や学外の機関による相互評価もされるようになり、この評価に応じて予算配分がされるようになったので、多様化のもとでの個性化が重要になったんです。だから、最近いろんな名称の学部や学科が出てきてるんですよ。

次に92年から、大学院重点化構想というのが出てきたんですが、愛媛大学でも、できれば全学部大学院、少なくとも修士課程は絶対、という方向へ動きました。

04年からは、大学教育への自由主義原理の導入や自己採算性強化のために国立大学が法人化され、だんだん『大学の一般企業化』が進んできています。

後藤：なるほど、だんだん大学の歩みが分かってきました。では、西田先生が同窓会に関わるようになられたいきさつについてお聞かせください。

西田：まず、1959年10月に法文学部の前身である文理学部の同窓会が創立され、このときから牧野修二先生が事務局長をやっておられたんですが、20年やって自分も高齢になってきたからと引き継ぐ人を探してたんですよ。で、私が母校である愛媛大学に赴任してきたから、「やってくれないか」と。でも1年目は断ったの。しかし「母校にいるのだから、税金だと思ってやれ」と言われるとね、我々の年代には効くんですよ(笑)。しょうがなく引き受けることになっちゃったのがきっかけ。その後、母校出身の教授があまりいないもんだから「税金」が効かなくて、2000年まで20年9か月も私が続けることになってしまったんです(笑)。

後藤：一番苦労された点は「名簿の管理」「会報誌の発行」「財政」などだと思いますが、どのようにシステム化し、事務局の体制を整備していかれたのでしょうか。

西田：まず、同窓会費だけでも、これは最初、卒業時に集めることになっていたんですが、なかなか集まりません。だから予算がわずかしなくて苦労したんです。これじゃいかんということで、82年から入学時に終身会費として出してもらうことにして、これで財政基盤ができたわけです。

次に、同窓会は『同窓生の親睦団体』なんです。そうすると、同窓会名簿と会報の2本が基本の柱なんです。この名簿がないと、同期の連中がどこにいるのか、何をしているのか分かりません。しかし、予算がなかった頃は名簿がなかなか出せなくて、会報が精一杯だったんです。会費の徴収方法が変わってからは、だいたい2～3年に1回のペースで出してきました。名簿の作成は印刷会社に依頼していたんだけど、そうしたら、所有権の問題が出てきた。編集権はこちらにあるんだけど、所有権は印刷会社にあるんですよ。だから、原本を買い取って所有権をこちらに移しました。その『会員名簿原簿』データをパソコンに入力していったら、97年にやっと完了しました。私の発行した名簿の特徴は、産業別・企業別に索引をつけていること。非常に便利です。ただ、これ続けるには毎年の卒業生を分類しなければいけないので大変で、誰もやりたがらないです。でも、学務課に行けば就職用の産業別分類の企業年鑑があるんですから、それを参考にして分類すればいいんですよ。しかしそれも大変だけど、卒業生の就職先・転居先を把握するのがまた大変。卒業直後に実家にハガキを出し、就職先で部署が決まったらまたハガキを出す。この2回のお尋ねをするとだいぶ把握できます。

その後、私だけでは事務作業が大変なので、2000年から事務担当のパート職員を採用することにしました。それと電話とFAXの設置です。国立大学だから、当然、施設は国有ですよ。そうするとね、電話線を引く穴を壁に開けることに許可が出ない。同窓会が建築費を半分寄付して建てた朋友会館内の事務室なのにね。電話の設置に10年かかりました。苦労しました(笑)。こういう風に事務局が整備されていきました。

後藤：ずいぶんご苦労されたんですね。今の同窓会があるのは西田先生の功績が非常に大きいことがよく分かりました。では、次に支部活動について伺いたいのですが。

西田：関西支部、関東支部はそれぞれ昭和37年と40年に設立されて、活発に活動しています。最近、四国支部が作られました。ただ、九州支部がまだありません。九州にも卒業生はたくさんいますから、これを作るというのが検討課題でしょうね。

後藤：今後の同窓会の活動についてですが、若い世代の参加、財政の活用、校友会との関係などの課題については、どうお考えですか。



西田：私学は学部ごとの同窓会がなく、全学で1つの同窓会なんです。国立でも10年ぐらい前から一本化へ向けて動きが出ています。法文でも、卒業生から一本化への希望が出てきているんですが、歴史的経過が違うし、財政も違うから、そう簡単にはいかないんです。しかし、かつて同窓会連



合会を作ったことがあるんですよ。朋友会館(職員会館)を建てるために募金活動をする目的で、全学で協力してね、そのときに集めたお金が少し残ったんです。このお金を基にして同窓会連合会を作り、90年に規約ができました。結局いろいろな問題があって、後にこの連合会は解散したんですが、今でも会長会というのが各学部同窓会の連携をとる機関として残っています。校友会はありますけど、これは各同窓会と大学との共通窓口としてあるだけだから、同窓会が一本化されてるとは言えません。校友会は校友会としての役割があるんですから、それとは別に各学部同窓会が一本化すればそれなりの対応ができると思いますから、その点が課題です。

学部への支援活動ですが、学部から求められたことに協力するのでもいいですが、同窓会も独自で何ができるか考えなくちゃいけませんね。「同窓会=(イコール)学部」じゃないんだから、連携するところとしないところの在り方を検討しなきゃね。それから、他大学の同窓会とも交流をもって、地域の同窓会として地域社会への貢献についても考えたいと思います。

若い世代がなかなか同窓会活動に参加しないのは、同窓会の宿命みたいなもんでね、しょうがないと思いますよ。卒業して10～15年ぐらいたって初めて大きな仕事を任されたりして、同期や先輩とのつながりを求めてきたり、ちょっと仕事に余裕が出て後輩の面倒を見ようという気になったりしてね、同窓会に関心が向いてくるんです。だから、卒業したばかりの若い人を引き入れるのは難しいです。特効薬はないと思います。それより、名簿管理に力を入れるべきですよ。個人情報の保護には十分気をつけなければいけないですが、同窓会の存在意義として名簿は絶対に必要ですから。

財政については、きちんと会費が徴収されるようになって基盤はできましたけど、貯めるばかりではいけないですね。会員のためにどう使うかも考えないと。来年の同窓会創立50周年記念には、大々的に使ってもいいんじゃないですか。記念の50年史も出してほしいですね。

後藤：ご意見、ぜひ参考にさせていただきます。本日はお忙しいところお時間をさいいただき、ありがとうございました。

同窓会 寄附科目「社会と人間」

報告

法文学部同窓会の全面的な支援の下で、社会の様々な分野で活躍されている同窓会員（卒業生）を講師として実施し、社会の有り様や就職活動・就職後の仕事の実際、昔の学生生活、先輩たちの生き方などを学生に語るものです。また、受講生と質疑応答を行うことによって、後輩である学生たちに、大学生活および卒業後の社会生活を自ら設計する手助けを与えることがねらい。

平成19年度は、「先輩が／と語る社会・人生・仕事」という授業科目で、後学期10月7日にスタートし、平成20年1月24日までの15回、毎週木曜日16:20～17:50開催されました。10月11日の「社長が／と語る」回では、お二人の社長に登場して頂き、その様子が愛媛新聞に掲載されました。ほか計33名の同窓会員の方々にご協力いただき、学部より非常勤講師の任命書を送らせていただきました。

約80名の受講生にも先輩の生の声を聞ける、視野を広げることができるいい機会として大変好評でした。また、終了後に運営に携わっていただいた学生さん3名と松本先生に、同窓会玉井会長から感謝状と記念品を贈り、小淵・森両学部長も参加して反省会を行いました。



回	担当日	テーマ	担当者名	現職
1	10月4日	ガイダンス	玉井靖彦	法文学部同窓会長（元県農えひめ教育専門部長）
2	10月11日	社長が／と語る	森本惇	伊予鉄道株式会社取締役相談役
			一色昭造	石崎汽船株式会社代表取締役社長
3	10月18日	公務員として働く	池川孝文	愛媛県民環境部環境局循環型社会推進監
			竹本道代	愛媛県保健福祉部生きた推進局子育て支援課長
			吉野隆彦	松山市産業経済部地域経済課
			大萩健	松山市公営企業局管理部経営管理課
4	10月25日	マスコミ・放送業界で働く	赤松英輔	㈱愛媛新聞社技術局制作部副部長
			山本陽一郎	南海放送㈱放送業務本部営業開発局営業推進部長
5	11月1日	弁護士が／と語る	宇都宮眞由美	弁護士
			水口晃	弁護士
6	11月8日	小売業で働く	田中正二	㈱フジ常務取締役 常務執行役員 店舗運営事業部長
			松岡克美	㈱フジ営業企画部営業業務課事務所トレーナー
7	11月15日	教育者として働く	仙波太郎	松山市立北条図書館長
			藤岡久美子	済美平成中等学校常勤講師
			芝田雅利	愛媛県立今治北高等学校教頭
8	11月22日	医療と福祉の現在	富長泰行	愛媛医療生協専務
			松本仁	コープえひめ福祉部長
9	11月29日	出版・メディア業界で働く	戒能博樹	アマノ印刷DTP室チーフ
			鳥生勉歳	㈱愛媛新聞社メディアセンター出版部副部長兼業務課長
10	12月6日	金融業で働く	吉岡寿治	㈱愛媛銀行事務部部长
			桑村基春	㈱愛媛銀行お客様サービス部調査役
			栗上理江子	㈱愛媛銀行人事教育部
11	12月13日	自由業	らくさぶろう	らくプロモーション代表取締役
			八束誠二	WYZ TOKYO(ワイズ・トウキョウ)店長
12	12月20日	海外で働く	吉田泉生	元アパタビ石油㈱
			山本求	COOPオンラインバシフィック代表取締役
13	1月10日	製造業で働く	谷水恭子	三浦工業㈱人事部女性活躍推進課
14	1月17日	働く女性の現在	早瀬昌美	㈱愛媛新聞社編集局編集委員室編集委員
			後藤珠希	フリーアナウンサー（Office Lapri）
			小林紀子	フリーライター
15	1月24日	まとめ		



10月11日「社長が／と語る」の回。学生からの質問に笑顔で答える、伊予鉄道株式会社取締役相談役の森本惇氏(右)と石崎汽船株式会社代表取締役社長の一色昭造氏



12月13日「自由業」の回では、らくさぶろうさんが登場！卒業後の軌跡を軽快な喋りで語り教室を沸かせた

受講生の声

- いろいろな話が毎回聞けて良かった。
- 普段行われる授業とは違う形態だったので、自分も参加しているのだと実感することが出来た。
- 今までは大企業のブランドイメージや一度就職できたら安泰という勝手な思い込みがありました。しかし、大企業、中小企業のメリット・デメリットを聞くことが出来たので、もう一度最初から考え直していこうと思いました。
- 失敗も貴重な経験の一つだとおっしゃっていました。私は、どちらかというと、先のことを考えて行動してしまう方なのですが、これからは「やってみなければ分からない！」という気持ちで行動していきたいと思います。
- 就職活動をするときに会社側に見られる部分というのはどの職種も同じなのだと思います。特にやっぱり人柄が大事になることがわかりました。会社に勤めるということは、様々な人と付き合っていくことなので、協調性というのが専門性より重視されるのだなと思いました。
- 「仕事はやらされるのではなく、自分でやる、何でも発想の転換が大事」だということが自立につながった考えであり、どの分野においても言えることだなと思った。やりがいも、認められるのも全て自分で見つけて、自分で試行錯誤を繰り返すからこそ得られるものなんだと思った。

お知らせ

平成20年度

法文学部同窓会提供講座「社会と人間」

平成19年度に引き続き、同窓生が仕事や社会、人生について在校生に講義する提供講座が開催されます。昨年の実績を踏まえ、受講生のアンケートなどを参考にしてスケジュールを組んでいます。8月時点で決定している内容は下記の通りです。

平成20年10月2日(木)～平成21年2月5日(木)
毎週木曜日 第5時限 16:20～17:50

※2/14(土)に講師と受講生との交流会を開催予定です。従来のOB・OGフェスタに替わる企画とします。
※昨年度は、「寄附科目」という名称でしたが、外部講師を招いての講座と区別するために、今年度からは「同窓会提供講座」という名称になりました。

第1回	10/2	ガイダンス
第2回	10/9	社長が／と語る
第3回	10/16	20代の先輩と語る
第4回	10/23	都会で働く
第5回	10/30	公務員として働く
第6回	11/13	愛媛県の産業を考える
第7回	11/20	メディア業界で働く
第8回	11/27	教育の現場で働く
第9回	12/4	金融業で働く
第10回	12/11	法の現場で働く
第11回	12/18	独立して働く（自営業）
第12回	1/15	文系エンジニアとして働く
第13回	1/22	異国文化と仕事
第14回	1/29	働く女性と現代
第15回	2/5	まとめ
Ext.	2/14	講師と語る

「第9回 学生による政策論文」で 優秀賞などを受賞

平成19年12月26日、松山市が募集した「第9回学生による政策論文」の表彰式が松山市役所で行われ、法文学部と教育学部の四つの政策論文が優秀賞などに選ばれました。

●優秀賞●

「道後温泉ランナー誕生!!～道後温泉をもっと身近な場所に」
法文学部総合政策学科2回生 大下かおりさん

●佳作●

「松山市が発展途上国を救う!?!」
法文学部総合政策学科3回生 山本真由美さん、森 雄太さん
「自転車ソーキニスト100%計画～市長もチャリで～」
法文学部総合政策学科3回生 有田裕紀さん、相地久和さん、倉岡 桜さん

●アイデア賞●

「わらべうたで つなごう松山の“わ”」(教育学部学生)



▲受賞した学生と記念撮影

外国人による「にほんご」 弁論大会

平成20年1月13日松山総合コミュニティセンター企画展示ホール2階で開催された松山湯築ライオンズクラブ主催(愛媛大学国際交流センター、松山大学国際センター、愛媛県国際交流センター、松山国際交流センター協力)第1回外国人による「にほんご」弁論大会において、ドワン レ ホワイ アンさん(ベトナム、法文学部)が審査員特別賞を、サメト バイダルさん(トルコ、法文学部)が松山湯築ライオンズクラブ賞を受賞しました。



▲ドワン レ ホワイ アンさん「審査員特別賞」

法文学部3回生の逸見恵理さんが伊予銀行が実施した 懸賞論文で最優秀賞を受賞

伊予銀行が創業130周年記念事業として実施した「魅力あふれるふるさとづくり」懸賞論文において、法文学部3回生の逸見恵理さんの論文「えひめおせっ隊～『またおいでや』のまちづくり～」が、平成20年2月19日付けで最優秀賞に選ばれました。

なお、逸見さんの他にも、下記の4件が、本学から「入選」に選ばれています。

Challenge Job Club	代表	高須賀ひとみさん(法文学部3回生)
UNISON	代表	神野泰治さん(法文学部3回生)
上野裕介さん(法文学部3回生)		
チーム永西	代表	永野さくらさん(法文学部3回生)



▲トロフィーを手に

愛媛大学附属高等学校 上掲式を行いました

平成20年4月1日、愛媛大学附属高等学校の発足に伴い、上掲式を行いました。

愛媛大学附属高等学校は、「地域に役立つ人材、地域の発展を牽引する人材の養成」を目指す愛媛大学の理念に基づき、生徒に「学びに対する高いモチベーション」「地域を担う意欲」とそれを支える「確かな学力」を育て、「生きる力」を愛媛大学と連携して培うことを目的とし、農学部附属農業高等学校から改組して発足したものです。



▲上掲式の様子

法文学部が特別コース「観光まちづくり コース」の設置について発表

平成20年4月16日、平成21年度から法文学部に設置する「観光まちづくりコース」の概要を発表しました。

観光産業は、21世紀のリーディング産業となる可能性を持っており、今後の地域の活性化のためには、観光産業を地域の基幹産業として育てていくことが重要な課題となっています。しかし、現在の愛媛県においては、全国的に低位な状況にあり、その大きな原因として、観光に関わる人材の不足があると考えられています。そこで、本学では、法文学部に特別コースを設置して、「観光まちづくり」における地域のリーダーを養成していきます。



▲記者会見の様子

お知らせ

旧愛媛大学歴史学研究会保管 考古資料について

愛媛大学本部敷地内に
ある埋蔵文化財調査室

1951年に創設され、全学サークルとして活動してきました愛媛大学歴史学研究会は、2004年3月に在籍会員がすべて卒業し、その歴史に幕を閉じました。長年にわたる同会の活動は多くの成果をあげ、その一部として、採集された考古資料が部室に残されておりました。

今後これら考古資料は、愛媛大学埋蔵文化財調査室において所蔵保管し、公開活用していくこととなりましたので、お知らせいたします。

なお、これら資料について、照会あるいは情報のある方は、下記までご連絡ください。
愛媛大学埋蔵文化財調査室(吉田) 連絡先: 089-927-9127



発掘された資料を手に取る吉田先生(右)とスタッフ

Photograph in Campus



正門



法文学部本館(手前)と講義棟(奥)



リフォームした図書館



同窓会事務所がある朋友会館



法文学部のアイドル犬「ハナちゃん」暑さでのび気味

昭和35年卒業

仙波 敦夫
(人文学科経済学専攻)

愛媛県松山市在住

「さまよえる公務員」のことなど

愛媛大学山岳会では先年の石鎚山面河登山道沿いの山小屋に続いて、今年は堂ヶ森の山小屋再建に取り組んでいる。今回も広く各般の方々のお力添えを得て、立派な施設がほぼ完成しており、関係の方々に対し厚くお礼を申し上げたい。

設計・施工等に携れた専門家の方々には厳しい現地環境条件を十分に配慮され、百年は保とうかという立派なお仕事をして頂いた。力仕事や雑用を含め、OB中心の山岳会員や大学の先生方、またチェコ、韓国などからの留学生諸君も参加され、他ではできない雰囲気を経験することができた。特に夕食後、各種アルコールが効果を発揮するころには、先生方のきわめてアカデミックなお話で盛り上がり、留学生諸君とは横文字やカナまじりの会話が飛び交った。諸君は祖国を後に、この地を学びの所と決め、学業のための貴重な時間の一部をさいて参加してくれただけでなく、陰日向なく骨惜しみすることもなく懸命に努力され、真摯で純朴な人柄は好感がもて印象的だった。また我々山岳会員は大半が社会生活現役卒業の年金生活者だが、世にあった際にはそれぞれ一角の仕事師として鳴らした面々であり話題には事欠かぬ。

ところで、表題の(自称)公務員の浜田であるが、住所は清水次郎長で有名な遠州浜松在。山での作業の間はいすゞの四駆ビッグホーンを仮寝の宿として各地の道の駅に停泊しつつ5月一杯の作業期間を皆勤した。農業工学専攻で卒業後は大手住宅メーカーのデベロッパーとして各地区転戦、定年退職後の現在は国に雇われている「公務員」という訳である。私はそのほうに詳しくないので間違っているかも知れぬが「次郎長外伝」とかの浪花節の一節に「中にゃとぼけた奴もいる云々」とあったような気がする。

常に覚醉の間にあって、巻舌で何事かをつぶやき、常に前向きで明るく物に動じない。私如き未熟者が彼の言うことを理解しようとすれば、後輩の間で面白い人通っている私の評判がたちまち変な人となりかねないので、ほうほうの体で逃げ出したのである。

とにかく、石鎚への魅力的なルート沿いで立派な山小屋なので足に自信のある方はぜひ一度訪ねて頂きたい。健脚向きで誰でもとは言えないのは残念であるが。

昭和52年卒業

越智 哲
(法学科法律学専攻)

愛媛県西条市在住

愛媛大学での学生生活の思い出

私が愛媛大学に入学したのは、昭和48年4月でした。地元の国立大学に入学できて、非常にうれしかった思いがあります。いわゆる受験時代から開放され、また、大学で専門的な学問を学べる期待と、親元を離れ一人で生活する不安とで下宿生活を送りましたが、とにかく学費と生活費を出して勉強させてくれる親に感謝しながら、4年間頑張ろうという気持ちでした。

大学では、今までと違ってサークルに入って何かを得ようと合唱団に入りました。歌を歌うのはそれほど好きではなかったのですが、ピアノが弾けるので、そのことも入部の大きな要因だったと思います。授業の合間に、こっそり特設音楽科の古びたピアノボックスでよく弾いていました。合唱団では、放課後の練習や夏の合宿などで特訓を受けたりしました。歌った曲で今でも印象に残っているのは、当時、堀の内にあった文化センター大ホールで定期演奏をしたバルトークの「4つのスラヴ民謡」やモーツァルトの「レクイエム」などです。

また、2回生になると私が入学する前年に発足した愛媛大学法律研究会(愛法会)にも、法律という難解な学問を理解するための手助けになるかなという軽い気持ちで所属することになりました。暑い夏、近くの岩屋寺というところで合宿をし、集中して法律の勉強会をしました。これも、学生時代の思い出に残っていることです。同期の仲間で弁護士になり、東京虎ノ門で活躍している者もおります。

3回生では、前期で卒業単位を取得し、まだ1年半を遊んで過ごすかそれともせっかく入学したのだから資格でも取るかと、教員免許を取ることに決めました。法学科なので社会科の免許を取得するのは当然でありましたが、他学科の文学科の授業にも出て、なんと英語の免許も取得しました。自分としては、奇跡とも思

える快挙(?)でした。でも、4年間法律の勉強をしてきてやっと興味の持てだした法哲学の授業が、どうしても単位として必要だった英語の授業と重なり、断念したことが少し残念な思いとして残っております。また、欲張ったというか、音楽の免許も取りたいと学務室に相談に行きましたが、さすがにあっさり断られました。

学生時代でもう一つ頑張ったことは、柔道です。今、秋山兄弟の出身地として有名な歩行町の常盤同郷会という道場に、毎晩のように通っておりました。大学になって柔道を始めようと思ったのは、当時中学校の柔道部主将をしていた弟に刺激を受け、自分も心と体を鍛えなくては、と思ったからです。2月の極寒の、しかもまだ暗い朝の5時という吐く息も凍りそうな寒稽古もありました。練習の後でいただいた熱いさつまいものおかゆがとてもおいしかったことを覚えています。ここでは、大学の柔道部と異なり、幅広い年齢層の人とお互励ましあいながら練習ができ、団体戦の試合でも職業や年齢が異なるにも関わらず、連帯感が感じられたことがいい思い出になっております。

卒業してから、このような松山の4年間の学生生活に少しでも恩返しをしたい気持ちを持っておりました。卒業後すぐ地元の市役所に入りました。平成6年の大湯水のとぎ、西条は水が豊富で生活にはまったく困ることはないほどでしたが、松山市や伊予市の人は時間断水を強いられ、大変困っているのを見過ごすわけにはいかず、私はたまたま水道課に配属されていた関係で、ボランティアや陸上自衛隊の車のタンクに給水するため、炎天下の配水地のバルブを1日3回開閉しに行く作業を、7月から9月までの3ヶ月間、皆で頑張りました。

また、私の実家では、我が家の敷地内で湧き出る「うちぬぎ」という自噴水を使って酒造元に仕込んでもらった酒を販売しておりますが、今年も全国で金賞を受賞しました。他にも同じ西条市内の2つの酒蔵が金賞を受賞しております。全国に自慢できる水で生活していることは、とても幸せに感じております。

今、松山市は中村市長の提案で、「坂の上の雲のまちづくり」を行い、大きく変わったと思います。もちろん、松山市は愛媛県の都市であり都会ではありますが、文化的な施設が整備され、かなり発展したと聞きます。今度、ゆっくり訪れてみたいと思います。4年間どうもありがとうございました。

平成9年卒業

権野 弘朗
(法学科)

奈良県香芝市在住

企業法務で働いています

私は、平成9年3月に法文学部法学科を卒業しました。当時はバブル崩壊のあおりで極端に求人が少なくなり、就職氷河期と言われた時代でした。建設コンサルタント会社の営業、医薬品会社の法務を経て、現在は機械部品メーカーの法務部に勤務しています。この間、法律は大きく変わり、そして増えました。企業法務の立場から見ていると「法律は時代を映す鏡である」とつくづく思います。

例えばコーポレートガバナンスやコンプライアンスへの期待の高まりに合わせて、会社法や金融商品取引法が制定されたり、談合への批判の高まりに合わせて、官製談合防止法や独占禁止法が改定されたりと、法律は時代の変化に追いつこうとしています。「時代を映す鏡」である法律は、時代を先取りしているのではなく、あくまで時代の変化の結果が現れたものと言えるでしょう。企業法務では、法律改正に対応するため社内体制整備に奔走することになるのですが、このような時代の変化を法律が変わる前から予兆できていると楽しい仕事です。

この楽しさを大学時代に身に付けたというカッコ良すぎるでしょうか。私は、学祭で模擬裁判をする法学研究会「向日葵会」というサークルに所属していました。そこで取り上げたテーマは「脳死」「HIV訴訟」「陪審制」でした。時代の変化を予兆するが如く、サークル仲間で選定したテーマは、臓器移植法、薬事法大改正、裁判員法という形で現代に現れ、当時の時代の変化への嗅覚が確かであったことを示しています。

卒業から11年が過ぎた現在、世には「鈍感力」という言葉が流行っていますが、大学時代に仲間と時代の変化を嗅ぎとることで、世の中に対する「鈍感力」を磨いていたんだなと思うこのころです。



関東支部【東京章光会】

東京章光会 定時総会が開催される

東京章光会（愛媛大学法文学部同窓会関東支部）の第44回定時総会が平成20年7月16日（水）午後6時～9時ホテル銀座ラフィナートで開催されました。

参加者はここ数年若手卒業生の参加が少なく、参加者数も他学部と同様に低迷していました。同窓生や役員を総動員して最大限人脈を活用した結果、今回の総会は、平成年代の若手卒業生や女性同窓生、また総参加者も過去最高の80名へと大幅増加し、盛会裡に催されました。

学校側からは、森孝明法文学部学部長をはじめ、加藤好文教授、鈴木静准教授、サテライトオフィス東京の岡部永年所長が参加されました。また同窓会関係では、玉井靖彦法文学部同窓会本部会長をはじめ、旧制松山高等学校、農学部、工学部、海洋土木会、理学部から、さらに法文学部同窓会関西支部、四国支部からも遠路にもかかわらずご参加いただきました。

総会・懇親会に先立って、元NHKのチーフディレクターであった久保敏氏（昭和34年法卒）による「“坂の上の雲”を片手に松山を歩く」というテーマで講演いただきました。正岡子規と秋山好古・真之兄弟3人の人格と知能を培った松山での足跡を司馬遼太郎の「坂の上の雲」から読みとって、愛媛大学卒業生と共通するものを探った興味深いお話

でした。とくに今年の末から3年かけて放映されるNHKスペシャル番組「坂の上の雲」の予告編としても意義ある講演内容となりました。

総会では、前年度の活動報告、会計報告が行われました。続く懇親会では、夏目漱石の



講師に紹介される坊ちゃんとマドンナ



乾杯！ 玉井同窓会会長

「坊ちゃんとマドンナ」の飛び入り参加や恒例の福引大抽選会で最高潮に達しました。

東京章光会では、従来から同窓会員の親睦をはじめ、校友会ともタイアップして在学生の就職支援や若手卒業生の参加によるイベントの開催などを通じて、会の活性化を目指してきました。来年当会は、創立45周年の節目を迎えますが、これを記念大会として100名の参加を目標とし会員の輪をさらに広げていくことを誓い合っています。そして同窓生全員が愛媛大学卒業に誇りをもち、元気が湧く東京章光会を目指します。

東京章光会
幹事長 太田 重明 寄稿

関西支部【にぎたつ会】

今年の秋に総会を予定しています。詳細は下記連絡先までお問い合わせください。

連絡先

- 事務局長 細川浩希（法1968年卒）
〒583-0012 大阪府藤井寺市道明寺5-5-10
電話0729-38-0989
- 支部長 和田哲治（経1968年卒）
〒593-8312 大阪府堺市西区草部1539-2
電話072-274-6645

広島支部

第3回広島支部は、平成19年12月1日（土）昨年と同じハイビル17階で、宇都宮四国支部長をお招きし、加えて東京章光会より高崎会長がご臨席をいただけるということで、昭和43年卒業の方々が多数参加して、総勢29名と今までにない多くの出席のもと、昨年同様に楽しく、和やかに、最後は逍遥歌「若葉の古城」、寮歌、について学歌を高らかに歌い終了しました。

来年は12月より少し早い時期に開催したほうが集まりやすいのでは、とのご意見もあり、平成20年11月15日（土）ホテル東急インで開催を予定しています。

昨年同様に昔を思い出し、近況を話して、同窓生として、お互いの健勝を祈りつつ楽しい時間を持ちたいと思いますので、どうぞ気軽にご参加いただきたいと思います。



顧問 竹本義昌（昭和33年人文乙法卒）
支部長 楠本 淳（昭和35年人文乙法卒）
事務局 岡田禎之（昭和40年人文乙法卒）
連絡先 082-820-2383（広島国際学院大学）
携帯 090-2862-1467

四国支部

法文学部同窓会四国支部第2回総会報告

平成19年11月16日松山市のビューフル松山で愛媛大学法文学部同窓会四国支部第2回総会を開催しました。総会の前に前田繁一前関西福祉大学学長による記念講演会が行われ、今の政治情勢などについて熱く語られました。



宇都宮新支部長挨拶

同じ弁護士の大先輩である白石隆支部長のご指名で新支部長となりました宇都宮真由美です。昨年の総会には、県庁・市役所その他フジを初めとする地元企業の関係者など多くの同窓生に参加いただきありがとうございました。特に前田先生には講演までしていただき感謝しております。理事の皆さんのご協力により支部長の大任をお引き受けすることとなりました。関係者の皆様の更なるご協力をお願いするしだいです。

来年で法文学部同窓会創立50周年を迎え、さまざまな行事も企画されているとか。四国支部の活動を通じて同窓会の活性化に少しでも貢献したいと思っています。昨年は広島支部の総会に、今年は関東支部への参加を考えています。皆様の応援よろしくお願いします。

なお、今年の講演会の演題が裁判員制度にしているかどうかという話で、私がお話することになりました。新しい制度への不安の解消と理解の一助となればと考えております。



役員体制の変更 白石支部長から宇都宮さんに支部長が変更となり、安居さんが副支部長となりました。新たに白石前支部長 前田元同窓会長 仙波前同窓会長に顧問について頂き 今後のサポートに当たってもらう事となりました。

2008年度同窓会四国支部総会の案内

日時 平成20年11月7日（金） 18時より
愛媛大学では、学生祭の開催予定です。
場所 ビューフル松山（旧勤労会館）5F 白鷺の間にて
松山市宮田町132 電話089-945-6011
＊駐車場はありません。JR松山駅より徒歩3分、愛媛大学より環状線で約15分
会費 5000円予定
出欠 同窓会報の参加通知葉書で10月24日までにお願いします。

問合せ先 詳しくは事務局まで

＊昨年に引き続き 全員に当たるビンゴゲーム他予定。景品の提供受け付けます。

総会予定

18:00 開会
18:10 講演会30分 質疑5分
演題 「裁判員制度について」（来年の話題です）
講師 宇都宮真由美弁護士
（協議の末、新支部長にお願いしました!!）
18:45 報告事項等
19:00 懇親会 乾杯・来賓挨拶・イベント・抽選会等
20:50 終了予定



同窓会にて
熟弁の井手松山子規会常任理事



校歌斉唱する左から
前田さん 山崎さん 井手さん 新谷さん

同窓会ゴルフコンペのご案内

日時 平成20年10月28日（火）
8時30分集合 9時3分スタート
今年は平日 同窓会と別の開催予定です。
場所 北条カントリークラブにて
松山市才之原乙76-2 電話089-996-0211
会費 2000円予定 プレー費は各自清算
出欠 同窓会報の参加通知葉書で10月14日までにお願いします。

問合せ先 詳しくは事務局まで

なお昨年の同窓会ゴルフは広島支部の岡田さんが一昨年に続き優勝 兵庫県から参加された梶本さんが2位となりました。

四国支部事務局連絡先

〒790-0047 松山市余戸南1-6-26（玉井方）
電話089-973-5048
担当：副支部長 玉井周平 携帯090-8973-7650
tousui78@yahoo.co.jp

愛媛大学法文学部同窓会理事会報告

愛媛大学法文学部同窓会 2007年度第3回(通算第43回)理事会報告

日 時：2008年2月15日(金) 18:00~20:00
場 所：愛媛大学朋友会館(職員会館) 出席者：23名
議 題：

(報告事項) 以下の内容が報告され、承認されました。

1. [慶弔関係] 法文学部 南 充彦先生が急逝されました。
2. 愛媛大学校友会理事会
3. 同窓会寄附科目 まとめ
4. 四国支部総会開催
5. 同窓会報12号発行計画
6. 中間決算報告
7. 資金運用計画
8. 名簿管理委員会

(協議事項) 以下の内容が提案され、議論の結果、異議無く承認されました。

1. 平成20年度(2008年下期開講予定)の「法文学部同窓会提供講座」「寄附科目」について、平成20年度については19年度と同様の開講を行います。
2. 平成19年度の「就職支援OB/OG企画」は開催しないものとします。
 - 1) 同窓会事務局・学生メンバー共に、「寄附科目」成功に集中したので、今年度は中止とします。
 - 2) 20年度は、早目からの準備を行います。
3. 法文学部同窓会「50周年企画」の意見交換
 - 1) 2009年度、法文学部同窓会は創立50周年を迎えます。

愛媛大学法文学部同窓会 2008年度第1回(通算第44回)理事会報告

日 時：2008年6月13日(金) 18:00~12:00
場 所：愛媛大学朋友会館(職員会館) 出席者：23名
議 題：

(報告事項) 以下の内容が報告され承認されました。

1. 同窓会員 会員数報告
 - 2008年3月末日
 - 卒業生 学部生:581人/院生:35人(新しい同窓会員)
 - 文理学部19年(1953年~1971年) 2,222人
 - 法文学部35年(1972年~2008年) 13,949人
 - 計 16,171人
2. 同窓会 寄附科目・提供講座「社会と人間」準備状況報告
 - 08年10月2日スタート、09年2月5日まで
 - 毎週木曜日16:20~17:50で開講
 - 2月14日(土)に講師と受講生の集いを開催します。従来のOB・OGフェスタに替わる企画とします。
3. 白楊会館 理事会・評議員会報告
玉井会長が参加されました。
4. 支部活動報告
関東支部「東京章光会」総会 7月16日(水)玉井靖彦会長が参加予定です。関西支部「にぎたつ会」総会は秋に予定されています。四国支部は11月7日(金)総会開催予定です。

(協議事項) 以下の内容が提案され、議論の結果、異議無く承認されました。

1. 07年度決算承認の件(資料P.18)
 - (1) 収入569万9,580円に対し、支出543万6,281円となり、当初の▲100万円の赤字予算(600万円の収入予算、700万円の経費予算)に対し、26万3,299円の黒字となりました。
 - (2) 5月9日(金)と13日(火)、光宗・田村監査により会計監査が行われました。
2. 08年度の事業計画
～基調は50周年記念事業を準備する年とします～
(ワク内は第11回総会決議)

(1) 今後の同窓会名簿のあり方を検討します。冊子のかたちだけでなくホームページからのアクセスなど他大学も研究し校友会や他学部の同窓会とも交流して、今日にふさわしい名簿管理と発行を行います。

- ①名簿作成は、学生の帰属意識の低下と個人情報保護が重なって情報入手が困難になっています。学部・校友会・大学生協とも協力して、引き続き新住所の把握に努めます。
- ②50周年記念事業として、09年度名簿発行の準備の年とします。

③今後の名簿管理とそのシステムについては「名簿管理システム検討委員会」(鳥生副会長 委員長)で検討を始めます。

(2) 同窓会報は同窓会員への大学紹介や会員相互の情報交流の場として、毎年1回の発行(9~10月を予定)を行います。引き続き同窓会員の皆様のご協力をいただき、内容の充実に努めます。

①同窓会報は、08年9月1日発行を予定します。50周年記念事業の特集と予告が中心のテーマとなります。また名簿作成のための勤務先・新住所問い合わせハガキも同封します。

②それに加えて、50周年事業の一つで日常の情報交流の場として「法文学部同窓会ホームページ」開設を、09年1月立ち上げで準備します。同窓会紹介、支部活動案内、ニュースなどの情報提供に加えて、会員からの住所変更・記事の投稿なども可能にします。

(3) 本総会で四国支部の発足を承認します。支部活動の活性化を重視し、財政基準も含めて支援内容について検討します。関東・関西・広島・四国支部からの代表者会議も開催し、お互いの活動や運営の交流を行います。

①各支部の取り組みに多くの同窓会員が参加できるよう、本部としても支援します。

②支部代表者会議を予定します。

(4) 法文学部からの「教育・学生支援事業」への参加要請に添えて、2007年度から同窓会で「寄附科目」や就職支援企画に参加・参画します。その中に「現役学生と同窓生の交流会」も位置つけます。

①07年度の取り組みの経験や教訓、アンケート結果も活かしながら、08年度同窓会提供講座を成功させます。

②寄附科目への同窓生の受講も広く呼びかけます。

③「現役学生と同窓生の交流会」も新しい形で準備します。

(5) 日常の活動強化のために、法・文・経の出身学科だけでなく、老・壮・青、男女のバランスも考えて理事を選出し、明るく活発で民主的な理事会運営に努めます。そのための必要な規程の整備を進めます。

(6) 同窓会創立50周年(2009年10月)の記念行事に取り組みます。

3. 08年度予算の特徴

- (1) 収入は550万円、支出は700万円で予算化します。
- (2) この中には、50周年記念事業にあたるホームページ開設50万円分の先行支出、事務局増員が含まれます。

4. 事務局員 補充の件

- (1) 現在、事務局は小林理事・野崎理事にお願いしていますが、50周年記念行事の準備のための体制が必要です。
- (2) 法文学部総合政策2006年卒、後藤珠希さんをお願いします。

5. 法文学部同窓会 創立50周年行事の具体化について

- ①50周年記念講演・レセプション ②50周年記念誌(カラー20ページ) ③同窓会名簿作成 ④記念品の作成 ⑤ホームページの作成 ⑥記念事業として時計台建立
- 尚、時計台については大学から以下の打診をいただいております。
- ⑦場所については、図書館と法文学部前の広場がふさわしい。
- ⑧愛媛大学創立60周年、校友会5周年も記念して、共同の記念事業でお願いしたい。これについては学長の歓迎の意志があり、7月1日の大学役員会・9日評議会でも了承を付けたい。
- ⑨法文学部同窓会より、他学部同窓会へのご報告と呼びかけをお願いしたい。

合計1,550万円~2,000万円の予算枠

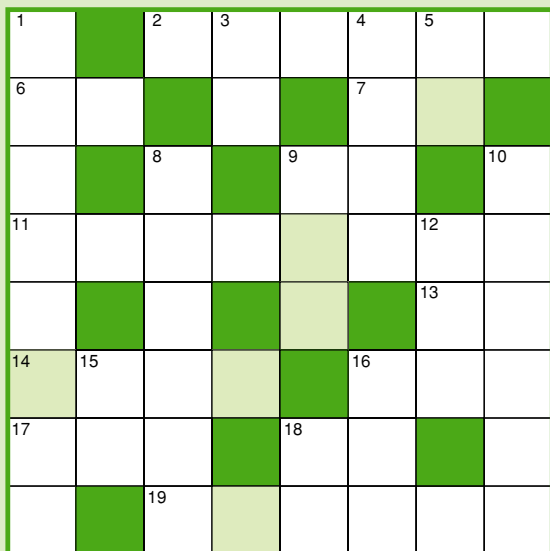


Graduation Memories 2009

平成19年度 法文学部卒業記念祝賀会



クロスワードパズルを完成させ、色つきマス内の文字を並べ替え、現れた愛媛県の名産品を教えてください。



(出題：H16卒・矢野彰大氏)

●ヨコのかぎ

- ② 源義経の恋人
- ⑥ アメリカ通貨
- ⑦ ↔ デレ
- ⑨ 数多く『○○あること』
- ⑪ 現イギリス女王
- ⑬ 刀の刀身と柄との間に
- ⑮ ローマ神話のユノの英語読み
- ⑰ 2008年夏季オリンピック開催地
- ⑲ 正体『○○の知らない』
- ⑲ インド式窯焼きパン
- ⑲ つるの+野久保+上地

応募方法

巻末の応募ハガキに正解をご記入の上、**2008年12月15日までに**本会あてお送りください。

賞品

図書カード1,000円分 **20名**

第11号 パズルの答え

正解：ボツチャン (ぼっちゃん、坊ちゃん)

ベ	ト	ウ	ヤ	コ	レ
ア	キ	ノ	マ	セ	イ
ヨ	サ	ノ	テ	ツ	カン
コ	ウ	マ	セ	ン	ン
ソ	ボ	サ	ン	カ	ドウ
ウ	ラ	ル	サ	ラ	ミ
チ	ザ	イ	コ	ウ	サイ
カイ	ジ	ギ	フ	ト	

【解答】

前回パズル当選者[敬称略]

応募総数151通 解答者107人中、正解者107人

図書カード1,000円分 (20人)

芥川 修(S32)	首藤 登子(S37)	島 道子(S40)	松浦 泰史(S44)
山崎 薫(S49)	千葉 典子(S56)	藤井 福美(S60)	坂東 隆(S61)
梶月 完城(H03)	水野 淳子(H05)	菅原 雅慶(H07)	小菅 聖子(H10)
村上美千代(H11)	白石 絹恵(H12)	重岡 里佳(H13)	門屋 友美(H13)
新名 愛(H14)	藤井 康子(H15)	高塚 梓織(H16)	小林由紀恵(H17)

- タテのかぎ
- ① ロシア大統領
- ③ 小野妹子が派遣された
- ④ 雑多な材料を煮込んで
- ⑤ ○は急げ
- ⑧ 他者のまずい言動で自分を磨く
- ⑨ たばこ自販機用成人識別カード
- ⑩ 参上? 誕生?
- ⑫ 大昔の石製道具
- ⑮ 州都はソルトレイクシティ
- ⑰ 物を挟む工具
- ⑲ 今

役に立った記事、面白かった記事ランキング

1位は「卒業生から」(26人)、2位は「大学最前線」(21)、3位は「学部長インタビュー」(18)。
以下、退職教授から(10)、写真・表紙(10)、支部だより(8)、OB・OGフェスタ(6)、パズル(5)、余談(4)

感想

●最近の様子などなつかしく読ませて頂いています。●母校の動きなつかしく拝見しました。●字が極めて小さいですね。●さらに面白いものにするように頑張ってください。期待しています。●今は松山を離れていますが、この会報を見たいと思います。これからも楽しみにしています。●毎号内容ももりだくさんで楽しく拝見させていただいております。●カラフルで見やすいです。●今でも大学とつながっているような感じがして毎回来るのを楽しみにしています。●多彩な分野の記事、工夫された編集…。読ませます。●小冊子ながらコンパクトにまとめ、内容すべて読み応えあります。●いつも楽しみにしています。在学中の頃よりも愛大に対しての親しみが持てます。

その他、お礼や励ましのお言葉を多数お寄せいただいています。ありがとうございました。

主なリクエスト

●在学していた頃の先生の今 ●ゼミ紹介 ●今の松山の様子。学生に人気の料理店 ●現職教授のインタビュー(研究内容等) ●退職教員の近況や手記 ●サークルの今昔など。身近なところでの話題

【編集後記】

●歴史は、1年1年の積み重ねです。同窓会が創立されて、もう50年を迎えようとしています。今年7月で、私は結婚30年になりました。次の1年に向けて、今を一所懸命に生きたいものです。編集委員のメンバーが、更に充実しました。おかげで誌面もフレッシュになりました。今後とも、皆様方のご声援をお願いいたします。(久保)
●ガソリン高騰と体重増加におびえています。自転車通勤で一挙解決!……といきたいところですが、この暑さでは……。かなり気合が必要です。(野崎)
●同窓生と現役学生との交流の機会も増えて同窓会活動も参加型になりつつあります。会報への投稿やご意見なども同封のハガキでお知らせして頂けると嬉しいです。(小林)
●編集委員に新たに仲間入りさせて頂きました。「西田先生インタビュー」担当の大役で恐縮しておりましたが、同窓会50年という歩みと伝統を改めて肌で感じる事ができました。この経験と先輩方のご支援を頂きながら、来年度の「50周年記念事業」、実行力と真心をもって温めて参りたいと思っております。(後藤)
●今回も編集委員の皆さんに多大にお世話になりました。ありがとうございました。事務局長としては、来年度の同窓会50周年行事と総会の事で今から頭がいっぱいです。できるだけ多くの会員の皆さんにご参加いただけるよう理事会の皆さん共々準備を進めますので、ご支援ご協力よろしくお願い致します。(山本)

発行 2008年9月
編集兼発行者 愛媛大学法文学部同窓会
愛媛大学法文学部同窓会事務局
事務局所在地 〒790-8577
松山市文京町3 愛媛大学法文学部内
TEL 089-917-6376 FAX 089-917-6476
印刷 アマノ印刷株式会社